

60.3.7 コピー

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭59-39920

⑫ Int. Cl.³
F 01 P 5/14
1/06

識別記号

厅内整理番号

7137-3G
7137-3G

⑬ 公開 昭和59年(1984)3月5日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全2頁)

⑭ エンジンと駆動装置の冷却装置

⑮ 発明者 渡辺剛

浜松市西伊場町20番17号

⑯ 特願 昭57-149233

⑯ 出願 昭57(1982)8月30日

⑯ 発明者 飯山忠司
静岡県浜名郡美村高塚300番地

静岡県浜名郡美村高塚300番地

⑯ 代理人 弁理士 指定外3名

明細書

⑰ 発明の名称 エンジンと駆動装置の冷却装置

造が簡単で安価にできる構造がある。しかし、一般的のベルトは、高速で運転すると、伸びて変形するときに発熱し、温度上升によって劣化し、耐久性が低くなり、しばしば交換しなければならない不都合がある。

この発明は、かかる点に鑑み、ベルト駆動装置を冷却して、ベルトの耐久性を高めるように改善したもので、以下本発明を図面に示す実施例について説明する。

第1図は、本発明の一実施例を示すもので、ベルトケース/の前部一帯にエンジン/が搭載され、エンジン/のクランク軸/とベルトケース/に組み合した中間部/に可変比のブーリー/とが取付けられて、リードのベルト/を巻掛ける。ブーリー/の一側には追心クラッチ/があり、曲車軸/を介して後車輪/の後車軸/に連結している。エンジン/即ちクランク軸/の回転を上げていくと、ブーリー/ベルト/ブーリー/と回転が伝わり、所定の回転数に達すると追心クラッチ/が接続し、曲車軸/を介して後車軸/が回転をして運行

⑱ 特許請求の範囲

エンジン/でベルト駆動装置を介して後車輪を駆動するようにしたオートバイに於て、エンジン/のクランク軸/の端に連結したファンでクリーニング/に送風して冷却するようにすると共に、一部を分岐させてベルトケース/に送風してベルトケース/内のベルト駆動装置を冷却するようにしたことを特徴とするエンジン/と駆動装置の冷却装置。

⑲ 発明の詳細な説明

この発明は、エンジン/でベルト駆動装置を介して後車輪を駆動するオートバイのエンジン/と駆動装置の冷却装置に関する。

「度のベルト/を用い、追心力でブーリー/の力を支える自動式連結器は、自動式連結器としては、構

が始まる。次にエンジン回転を上げると、ブーリーとブーリーとの渦心力による可変性が行われて、増速される。尚して、この増速は、かかる結果に於て、クラシク袖の端に、ファン¹を連結し、エンジン²のシリンドラ部分をファンカバー³で囲う。そして、シリンドラ²とベルトケース¹の間に仕切扉⁴を入れて、ベルトケース¹にも部分遮断する。ベルトケース¹の状況には、出口⁵を設ける。

作用について説明する。

クラシク袖²の回転と共にファン¹は同時に送風をする。この送風の大部分は、シリンドラ²に向って流れ、シリンドラ²を強制冷却する。残りの一筋は、ベルトケース¹を前から後方に流れ、ベルト⁶を冷却するので、ベルト⁶の温度上昇が防げて、耐久性が向上する。

図よりは、本発明の他の実施例を示すもので、ベルトケース¹の後端の出口⁵を、後車輪⁷の通りで延長してある。他の他の点は前¹に示したものと同一である。出口⁵を、後車輪⁷の通り

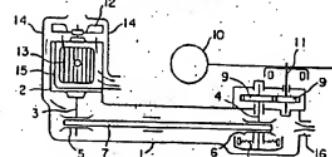
特開昭59-39920(2)

まで延長することによって、ベルトケース¹内のベルト⁶を冷却した風は、後車輪⁷の周りに吹出し、後車輪⁷に装着されたブレーキ⁸も冷却できる。

以上説明したように、この発明は、エンジンでベルト駆動装置を介して後車輪を駆動するようにしたオートバイにて、エンジンのクラシク袖の端に連結したファンでシリンドラに送風して冷却するようにすると共に、一部を分離させてベルトケース¹に送風してベルトケース¹内のベルト駆動装置を冷却するようにしたので、シリンドラ²を強制冷却するファンで、一筋の送風分配によらず、ベルト⁶を冷却でき、ベルト⁶の温度上昇による劣化を防げて耐久性が向上する。ファン¹を若干大きさにするだけで、製造コストも安価にできる。又、ベルトケース¹の冷却風出口を、後車輪⁷の通りで延長することによって、後車輪⁷のブレーキ⁸の冷却まで行なうことができる。

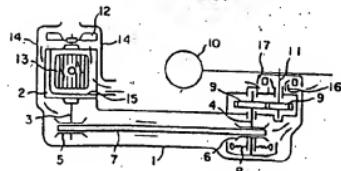
4. 図面の簡単な説明

第1図



出力人代理人 指定 例

第2図



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 59-039920
(43) Date of publication of application : 05.03.1984

(51) Int. Cl. FOIP 5/14
FOIP 1/06

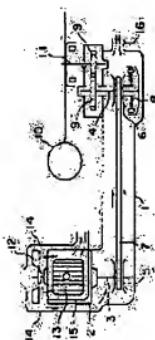
(21) Application number : 57-149233 (71) Applicant : SUZUKI MOTOR CO LTD
(22) Date of filing : 30.08.1982 (72) Inventor : IIYAMA TADASHI
WATANABE TAKESHI

(54) COOLING DEVICE FOR ENGINE AND DRIVE MECHANISM

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent deterioration of engine performance owing to rise of belt temp. by cooling cylinders with fans coupled with the end of crank shaft and by allowing part of the air stream to diverge for inside the belt case for drive of the rear wheel of a motorcycle.

CONSTITUTION: A cooling fan 12 is coupled with the end of crank shaft 3 of an engine 2 for motorcycle to blow wind to a cylinder or cylinders 13 for cooling them. Pulleys 5, 6, whose diameters are changeable and on which a belt 7 is stretched over, are mounted at the other end of the crank shaft 3 and on an intermediate shaft 4 borne by the belt case 1, respectively, and are coupled with the rear axle 11 with a centrifugal clutch 8 and reduction gear 9 interposed. Part of the cooling air diverges for inside the belt cover 1 coupled with the fan cover 14, and upon cooling the belt 7 is exhausted from an outlet 16 provided at the rear end of belt case 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office